

2023年度S Semester 先進科学 I α 量子技術と量子コンピュータ (アドバンスト理科)

金曜2限

担当教員：野口篤史 u-atsushi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

以下の30名の履修を認めます。

J4-220364	J4-220692	J4-230577
J4-220404	J4-220696	J4-230797
J4-220410	J4-220752	J4-230831
J4-220450	J4-220769	J4-230837
J4-220474	J4-220788	J4-230930
J4-220516	J4-220977	J4-230997
J4-220581	J4-220992	J4-231070
J4-220596	J4-221011	J4-231083
J4-220608	J4-221017	J5-220326
J4-220660	J4-221023	J6-220056

>上の学籍番号のみなさん

本講義では Slack を用いた情報共有を考えています。Slack は過去の先進科学 I α と共通です。また、履修登録は忘れないようにお願いします。第2回の授業は情報教育棟 E42 教室で行います。その授業で IBM Q experience への登録に関してお知らせいたします。PCのある教室ですが、自分のラップトップを使いたい場合、持ってきてください。IBM Q experience の academic 登録と Slack への招待のために、みなさんの g.ecc のメールアドレスの情報が必要です。次の授業でも再度聞きますが、前もって私宛にメールを送ってもらえると助かります。

>それ以外のみなさん

みなさん、課題はよくできていて、しかも熱い思いを語ってくれたので、かなり僅差でした。アカウントなどのシステムの都合上、断腸の思いでの選抜になりました。次の機会がある方はまたチャレンジしてください。お待ちしております。量子情報に関する質問なども受けられるので、メールにて連絡をもらえれば。

>総評

何人か書いてくれましたが、特に1年生は時間割が埋まっていて課題にかける時間を多くは取れなかった人もいたようです。また、内容的にもどうしても2年生の方が有利な面は否めないかと思います。ただ、量子技術に関しては、近年いろんな授業や大小様々なイベントもあるので、ぜひ積極的に調べてみてください。また理1の1年生は、Aセメには僕らの研究室で受け入れる研究入門(基礎実験 α)もあります。今回の授業の内容とは異なりますが、実際に超伝導量子ビットに触って動かす機会を作ることできますし、その他内容に関しては相談できますので、そちらも積極的に挑戦してみてください。

2023年4月9日 野口篤史